

(別添 3)

## 【 山辺町 】 校務 D X 計画

当町では、国の G I G A スクール構想に基づき令和 3 年度に 1 人 1 台端末の整備を行い、これまで I C T を活用した教育活動が着実に進展してきている。今後は教職員の働き方改革の実現と教育の質の向上を目指し校務 D X を進めていく必要がある。

「G I G A スクール構想の下での校務情報化に関する専門家会議」の提言や、「G I G A スクール構想の下での校務 D X チェックリスト」による自己点検を行いながら、課題解決に向けた取り組みや検討を行い、校務 D X を進めていく。

### 1. 次世代の校務支援システムの整備

現在の当町における教育系ネットワークは、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と児童生徒が学習活動で利用する「学習系」の 2 つに分離しており、相互にアクセス等ができない構成をとっている。今後はセキュリティ対策を十分に講じたうえで、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、国が推奨する「校務系」と「学習系」のネットワークの統合や次世代の校務支援システム整備について、校務支援システムの更改の時期を踏まえながら検討を行う。

### 2. F A X の使用・押印の見直し

F A X の使用と押印の見直しは、校務の効率化、ペーパーレス化、教職員の働き方改革を達成するための重要な要素となる。

F A X の使用については、災害時やネットワーク不具合時など、F A X の使用が効率的な場合等を除き、原則廃止を視野に入れて取り組んでいく。

押印については、現在、押印を求めている業務や書類について、押印の必要性の整理を行い、真に押印が必要な場合を除き、原則廃止に向けて取り組んでいく。

### 3. 学校と保護者間の連絡手段

現在、学校と保護者間の緊急連絡や出欠確認等の連絡手段については、全校でメール配信システムを導入して行っており、双方の負担軽減を図っている。

学校保護者間の負担軽減と教職員の働き方改革の推進を更に進めるにあたり、新たに連絡網システムなどのツールが必要となる際には、整備に向けた検討を行う。

校務 D X を推進し、業務の効率化・合理化により、教職員の校務処理の負担軽減を図り、児童生徒と向き合う時間の確保を目指していく。